



運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和4年6月号 第213号

(令和4年6月30日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

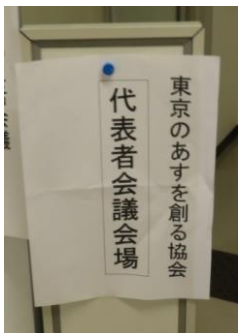
Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール tou-asu@netjoy.ne.jp

◆令和4年度 代表者会議 開催

コロナ禍のために2年間、開催されなかった生活学校及び生活会議の代表者会議が6月10日、飯田橋の東京都消費生活総合センターで開催されました。また、会議終了後、生活学校連絡協議会、生活会議連絡協議会の総会もそれぞれ開催されました。

東京都生活学校連絡協議会総会では、会長を長く務められた田丸せつ子さんが退任し、後任の会長には副会長の三原庸子さん(渋谷・本町生活学校)が就任し、副会長には継続の熊代聖子さん(杉並・汝の花生活学校)と新しく服部京子さん(渋谷・中幡生活学校)が選任されました。一方、東京都生活会議連絡協議会の総会では、会長、副会長の役員には変更がなく、令和3年度の事業・決算報告、令和4年度の事業計画・予算が承認されました。



東京都生活学校連絡協議会 総会



東京都生活会議連絡協議会 総会

◆令和4年度 東創協 定時社員総会 開催

本年度の東創協の定時社員総会は6月23日、飯田橋の東京都消費生活総合センターで開催されました。令和3年度事業報告・決算、理事・監事の一部選任についての審議が行われました。

◇事業報告・決算報告

令和2年度同様、引き続き新型コロナウイルス感染拡大により、令和3年度の事業の多くも中止とせざるを得なかったとの説明がなされた事業報告及び決算が承認されました。なお、令和3年度事業報告、決算資料については、東創協のホームページに掲載されています。

◇理事及び監事の一部選任

田丸せつ子副会長、矢野瑞耶理事、鈴木和子監事など、一部の理事及び監事から退任の申し出があったため、新たに理事4人及び監事1人が選任されました。今回選任されました理事及び監事の任期については、令和4年6月23日から令和5年6月定時社員総会終結の時までとなります。

新理事・監事

	氏名	所属等
理事	岩野 恵子	東京都教育庁地域教育支援部長
	清水 繁	東京商工会議所検定事業部長
	三原 庸子	東京都生活学校連絡協議会会長
	太田 史郎	東京都生活会議連絡協議会幹事
監事	伊藤 彰彦	公益財団法人東京都学校給食会理事長



東京都消費生活総合センターで開催された総会

[事務所休業のお知らせ]

東創協の事務所は、8月10日(水)から12日(金)まで夏期休業のために閉鎖となります。よろしくお願いいたします。

NPO法人「朴の会」 小児がんの子どもたちやそのご家族への応援団

日本では毎年2000～2500人の子どもたちが小児がんと診断されますが、種類によっては7～8割が治療を終えることができるようになってきました。それでも、子どもの死亡原因の上位を占めており、年間約500人の幼い命が失われています。小児がんの治療には長い過酷な入院生活が避けられず、家族の二重生活、治療中の学校の問題、進学や就職、結婚や出産など様々な困難があります。そんな厳しい療養生活をしている小児がんの子どもたちやそのご家族への応援団として寄り添うための活動をしている団体があります。2009年に設立された認定NPO法人「朴の会」(ほおのかい)です。その活動は、チャリティー公演「ごえんなこんさあと」、「シンポジウム&ミニコンサート」、「クリスマスコンサート」の開催、また、聖路加国際病院や東京都立小児総合医療センターなどで子どもと家族、病院関係者を対象としたミニコンサート「音楽とどけ隊」(コロナ禍の現在、演奏を収録したビデオレターを送付)を実施しています。コロナ禍が落ち着き、活動が再開したら、実際の様子を紹介したいと思います。



(一口メモ) 小児がんとは

小児がんは、15歳以下の子どもに発生する悪性腫瘍と定義され、約3分の1が**白血病**、残りが「**固形がん**」です。小児固形がんの半分近くが**脳腫瘍**で、その他の小児固形がんの残りにも実にさまざまな種類の腫瘍が含まれています。なお、小児固形がんでは、成人に多い上皮性の「**癌**」は少なく、ほとんどが「**肉腫**」です。胃癌や肺癌は、それぞれ胃と肺にしか発生しませんが、肉腫の発生母地となる組織は体中至る所に存在するために、小児の固形がんは体中のどこからでも発生するのが特徴です。(国立成育医療研究センターHPより)

◆飯田橋駅の今、

コロナ禍の中で、飯田橋の東京都消費生活総合センターを会場とする会合が少なくなっていたこともあり、飯田橋駅が大きく変わったことに気が付きませんでした。西口駅舎が改築され、警察病院があった駅前には、飯田橋グラン・ブルームという地上30階のツインタワーがそびえています。そして、何よりも中央・総武線(各駅停車)のホームが西側(新宿寄り)に200m移設されました。以前はかなりきつい曲線に設けられたホームのために、電車が停車した際に隙間が最大33cm、高低差が最大20cm生まれ、年間で平均10件ほどの転落事故が起きていたという。新しい駅舎、ホームについては、当初のオリンピック開催日程前の2020年(令和2年)7月に供用開始されています。



飯田橋駅西口



飯田橋グラン・ブルーム



新宿寄りに移動したホーム

<eco検定アワード2022の募集について>

→ (詳細はこちらをご覧ください)

東京商工会議所では、環境活動に取り組む団体、個人を顕彰する**eco検定アワード**を毎年実施しています。地域で環境保全や温暖化対策等、SDGsに取り組んでいる団体、個人の方がご応募いただけます。東京商工会議所主催のeco検定(環境社会検定試験)合格が条件となります。



▽ひとこと

今年の梅雨はアツという間に明けました。気象庁は6月27日、関東甲信や東海、九州南部が梅雨明けしたとみられると発表しました。1951年以降、3地方ではいずれも梅雨の期間が最短となるという。また、関東を中心に連日猛暑が続いており、群馬県伊勢崎市では6月としては記録的な40℃を超える高温となりました。また、そんな猛暑の中、東京電力管内では「電力需給ひっ迫注意報」が出て、熱中症に注意して冷房を使いつつ、不要な照明を消すなどの節電を呼びかけている。「節電しないで節電する」というのは難しい。梅雨が短く、異常な高温になるなどの異常気象は、「ラニーニャ現象」が昨秋から続いているとみられるからだという。では、そのラニーニャ現象はどうして起きるのが肝心なところだが、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけての海面水温が平年より低くなり、その状態が1年程度続くからであるという。逆に高くなるのがエルニーニョ現象であり、それぞれ数年おきに発生するという。では、その海面水温が高い低い、なぜ起きるのか。地球が温暖化しているからとりたいところだが、いまだ「関連している可能性がある」程度にとどまっている。う～む、謎は深まり、それに付いても暑い。(竜)